

<p>谷 委員</p>	<p>教育長のごあいさつにもありましたけれども、連日、新型コロナウイルスの感染等、心配なニュースが続いているのですけれども、この時期、中学校や高校入試の真っ盛りな時期なので、本当に心配しています。</p> <p>あと、それに伴って中国から輸入されてくる農産物のことなど、ちょっと思ったのですけれども、最近、スーパーなどでもお野菜が本当に高く、家計を圧迫しつつあるのですけれども、そういうようなことで学校給食に影響など出てくるのではないかなと思ったのですけれども、その辺はどうなのでしょう。</p> <p>家庭ではなかなかお野菜を食べてくれない子どもですけれども、学校であればお友だちの目もあるし、何とか苦手なお野菜も頑張って食べるというところもあるので、食費がかさんできて、学校給食のメニューの内容に影響が出てくるのだららと思ったので。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>先にコロナウイルスのことなんですが、今日、県から東近江管内の保健所単位で対策会議をということで連絡が入ってきました。県で対策会議が持たれ、13日に、管内でもそのような対策を医師会と各市町の学校教育課の課長レベル、そして福祉部門が参加すると聞いておりますので、それが近々のコロナウイルスについての情報です。</p> <p>ただ、県教委からは既に何回も、「コロナウイルスに罹った方の対処はこうしてください」というものは来ていますが、全体的な中ではそういうことでされます。</p> <p>それと給食のことですけれども、毎月、単価で見積もり合わせをさせていただいて、野菜の値段などを決め発注をしているわけですが、それを見ている限り、外国産が多くあるとは思いませんので、今、日本の関係で進めてもらっているのかなと。前にパプリカが韓国産という話をしていたのですが、そんなに中国産野菜がどんどん入ってきているという印象を私は持っていません。</p>
<p>谷 委員</p>	<p>地産地消で日野町はやっているのですか。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>基本、地産地消でしたいというだけで、なかなか町内だけではできませんので、県内を含めて地産地消のカテゴリーの中に入っていますが、それ以外でも全国から取り寄せています。できる限り県内産でしたいという思いを持っております。</p>

西村 委員	<p>学校教育課さんに質問させていただきます。昨日、先進校視察研修、大津市立長等小学校へ行かれたということでございますが、研修の目的を教えてください。</p>
山添 参事	<p>課長補佐からの報告を受けたことについてお話しさせていただきます。</p> <p>まず授業につきましては、「主体的で深い学び」を目標に、どの学年も子どもたちが意見を交わし合うということを重視した授業が展開されていて、いい授業だったなということでした。参加した教員同士で帰りの車中でふりかえりをしながら帰ってきたということをエピソードとして話してくれました。</p> <p>本来、先進校視察というのは昨年度まで県外へ、特に岐阜県へ行かせていただいていた。しかし今年は日程が合わなくて大津市に行かせてもらったのですが、教員としてなかなか「学び」が深く、各校へ伝達してほしいなということを言いながら、昨日は分散したと伝達してくれました。</p> <p>よいモデルの授業を見た者が伝達するという事は、今後、日野町でもそれを実践に生かしてほしいという話をしていました。以上です。</p>
西村 委員	<p>どうもありがとうございました。学んでいただいたことをまた広めていただければと思います。</p> <p>もう1つは生涯学習課さんへ、質問というよりも私の意見になりますが、このほど県教育委員会から公表された「滋賀県文化財保存活用大綱」の原案についてです。1月24日が確かパブコメの最終日だと思えますが、私は特に意見を出したわけではございません。</p> <p>全体を拝見しまして、県がこれから取り組もうとする方向性が示されたということでは、大変意義のある、また重みのある文書だと思いました。中身を拝見しましたが、やはり日野の住民からすれば、県が「日野」に所在する文化財についてどのように捉えていただいているか、気になるところです。まず「量」の面では、指定文化財のシェアというのが表に出ております。県内における日野のシェアは、国指定が2.2%、県指定が3.6%、市町の指定が2.7%です。人口のシェアはちょうど1.5%ですから、人口比でいくとかなりの率で指定文化財を持っているまちだなとわかるわけです。</p> <p>ただ、ちょっと残念に思いましたのは、大綱の中の前半の部分「滋賀県歴史文化の特徴」という項目で、5ページにわたって、県内の文化財</p>

	<p>を概括した内容が文章として書かれていて、個別の文化財がわりあい多く取り上げられているのですが、残念ながらその5ページの中に日野町は1件も出てこなかったのです。</p> <p>ただ付属資料というのがありまして、これは歴史を辿って、年代別に書かれているのですが、そこでは近世の江戸時代、幕藩体制の中で、仁正寺藩（日野町）が1つ出ていた。それから商人出身の画人として高田敬輔（ただけいほ）の名前が出ていた。民俗では、近江中山の芋競べ祭（日野町）、それからもう1つは、県内6か所の曳山祭りの1つとして「日野」と出ていた。だから、日野に関わりがあるのはその4件だけ紹介されていました。</p> <p>ただ、私の気持ちとしては、もう少し書いていただいてもいいのではないかなと。もうちょっと日野町も触れてほしいなと、そういう意味では多少残念だなと思いながら、ただ、県の教育委員会から見るとそんな感じなんかなと思いつつ、これを読ませていただいたということになります。この部分は感想ということで、申し上げました。</p>
吉澤 課長	<p>ありがとうございます。西村委員さんから県の文化財保護大綱についてということで、ご意見をいただいたところでございます。確かに先日までパブリックコメントがなされておりまして、そういう形でしていますという情報については、県から町へいただいております。</p> <p>文化財の率というのを人口的な比率で見ただいて、これは日野町の先達の方々のいろいろなご努力によりまして、人口比的には多いと思います。ただ文章的には少ないというご意見でございます。文化財保護の担当が日野町を外そうという意図はないと思うのですけれども、その中で若干、少なかったのかなということについては、そういうご意見があったということを受け止めさせていただきます。</p> <p>町といたしましては、確かに人員の・予算的な部分で、なかなか文化財のところに力が入れてないと思っていただく部分は確かにあると思いますが、できる限りそういう部分についても、力を注いでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
西村 委員	<p>どうもありがとうございます。町民の方にパブコメが募集中であることを申しましたら、「それなら意見を出そうかな」と言われていた方もおられたので、お声掛けをすればいろんな関心を持たれる方もあるなと感じた次第です。ありがとうございました。</p>

高橋 委員	<p>私も2点ほど、感想的なことも含めてお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>冒頭、教育長からごあいさつがございました中の、国の施策であるわけですが、全国の子どもたちに一人1台のパソコンを配付すると。その事業費が4,000～5,000億円とか言っておられましたかね、ある新聞で論調が書いてありました。そのことが本当に子どもたちのためにプラスになるのかどうかということを考えないといかんと。</p> <p>例えばパソコンの世界というのはものすごく進歩しているし、学校の先生にとっては日々進歩しているパソコンに全力投球をしているようでは、本来の教育をするのに支障をきたすのではないかという話とか、あるいはパソコンとスマホとはある意味では似ているということで、従来からの「先生が板書したことを写す」とか「ボールペンとか鉛筆でノートに書く」とか、そういうこともなおざりにしてはいけないのではないかという論評がありました。私も実際のところはそうだなと思っています。</p> <p>非常に財政的にも今、国もそうだと思いますけれども、厳しい財政の中でそういった措置をされるのはいいわけでありますけれども、翻りまして日野町の場合でいうと、教育的効果を求めてこれから進んでいくと思いますが、今、状況的にはどの程度になっているのか、わかるようでしたら教えてもらいたいと思っています。</p> <p>もう1点、学校教育課さんから経過報告もありましたけれども、毎年、もちろん時期的なことも考えられまして英語検定とか漢字検定とかなさっていると思います。この間、西の公民館でしゃべっておりましたら、結論的なことは曖昧なところがありますが、公民館を会場にして漢字検定とか、そういうことでしょうかとか、そんな話もあつたように思うのですけれど、いろんな場所で検定ができるのかなと思いつつながら、それはそれとしまして、中学校では2年生が英語検定とか、小学校では5・6年生が漢字検定とか、そういったことが、小学校でしたら全部の小学校で検討されて年に何回か計画的にされているかと思いますが、効果はどういうふうになっているのか、少しお話を伺えればありがたいなと思っております。よろしくをお願いします。</p>
望主 次長	<p>高橋委員さんからご質問のありました一人1台パソコンということで、これは総理大臣の口から出た言葉がそのまま現実になったということでございます。</p> <p>今行政で考えているのは、そのような施策を打ち出されましたので、</p>

日野町だけが一人1台パソコンをしないということはできない。隣の東近江市・甲賀市・竜王町などがされているのに、日野町だけがインフラ整備をしないというのはいかななものかと思っていますので、日野町も今回、政府の言っています補正予算に乗ったところで整備を進めていきたいと思っています。

具体的には「GIGAスクール構想」と言いまして、こういう用具を使う時にはWi-Fi環境、ネット環境を充実させてするという整備は、国がほぼ補助金を出して、補助金の裏打ちについても交付税で対応するとか、起債とか、制度が整った補助事業を現在提案されていますので、それに乗りたい。今までそのようなパソコン環境の整備について、国の補助金はそんなに潤沢なものではございませんでしたので、ほとんど単独費で対応させていただいていたのが、今回そういうメニューが出てきましたので、一人1台パソコンにするためには、ネット環境を充実しないといけないので、それは積極的に乗りたいなと思っています。

それには、町が一人1台パソコンをするという計画を持っているから、GIGAスクール構想に乗れるということですので、その中で進めていきたい。日野町も子どもさんに一人1台のパソコンをとということで進めていきたいと思っています。

ただ、国につきましては、すべてが補助の対象になるのではなくて、3分の2が補助対象になって、3分の1につきましては今までの地財措置ということで、地方交付税の中に3クラスで1クラス分のパソコン整備というのが打ち出されていまして、3分の1は今までからそのような財政措置はしているので、それを継続してください。今回は、3分の2は国が補助金を出しますと。それも45,000円です。このタブレット1台45,000円で買えるものということで、80,000円したら45,000円は補助しますが、35,000円は町で持ってくださいよということ。国に先日も町長が出向いて直接聞いてこられました、45,000円は出しますということでした。

町につきましても5年間でタブレットの整備をするという計画になりますので、LAN配線は令和2年もしくは3年でさせていただいて、あとに並行して5年間の間にこのタブレットを子どもさんに配付したい。初年度は、小学校5年生・6年生と中学校1年生が対象ですよといっておられますので、国のロードマップに基づき、次の年には4年生とか、次に3年生とか、全体で5年間で小学校6年生と中学校3年生まで全部賄うということになっています。

町としては来年(令和2年)につきましては3学年分をしようと思っ

	<p>ています。だいたい 330 台くらいのタブレットを導入する予定です。予算を詰めさせていただくときをお願いをしないといけないのですが、一応令和 2 年度で LAN 配線をさせていただいて、令和 2 年から 5 年間でハードの整備をさせていただきたいと思っています。</p> <p>各近隣を聞いていますと、ほとんどの市町も同じようなことと思いますので、タブレットが文房具みたいなようなイメージになっていくのかなど。</p> <p>ただ、高橋委員さんがおっしゃっていただいたように、これを持ってどのような授業をするのかというのは、各先生方に学校教育課が指導しながら進めていきたいと思っています。</p> <p>現実的には国はそのようなことを言っていますが、各学校に ICT 支援員さんも今まだ十分にいませんし、町に約 1,600 台のタブレットが来たら、その 1,600 台の管理をしていかないといけないので、専門的な業者であったり専門家をまた 1 名くらいは配置をしないと、スイッチが入らないとか、傷んだとか、どういうソフトを使ったらいいのかとか、いろんなハード的なご質問も教師の方からあるのかなどと思っていますので、見えないところでお金が要ると思いますし、またこういうものが入れればデジタル教科書ということもすぐに連動してきますので、これから先にハードは整備しますが、ソフト的なことについても、しっかり町としても考えていかないといけないなと思っています。</p>
高橋 委員	<p>ありがとうございました。</p>
山添 参事	<p>漢字検定・英語検定の効果について聞いていただきました。時期も 1 年間のまとめの時期というところで設定をしています。日頃の練習の成果をみるということが大きな目当てであります。</p>
高橋 委員	<p>中には、チャレンジして取り組もうとする子もいますし、自分に合ったところを受検する子もいます。</p>
高橋 委員	<p>ただ、練習したことが生活の中で活用できるといいなと考えています。</p>
高橋 委員	<p>理解不足かもわかりませんが、検定は公費負担ですか、個人負担ですか。</p>
今宿 教育長	<p>公費です。</p>

高橋 委員	<p>ありがとうございます。それからもう1つは、先ほど公民館の話をしましたけれども、そういったところと論議はあったのかな。検定するのは学校というふうに日野町では決めておられるのですか。そういうふうに決まっているのですか。</p>
今宿 教育長	<p>学校の子どもたちに検定料を予算で組んでおりますので、場所も日も決めております。公民館単位で子どもたちの検定をやってみようという独自の取り組みをされているのか、その辺はわからないのですけれども。</p>
高橋 委員	<p>私も曖昧なことを聞いてしまいました。申し訳ないです。</p>
吉澤 課長	<p>私の知っている知識の中で申し上げますと、検定協会の方に申し込みをすれば、地域などの単位でも場所を設定すればできると思います。ただ、今現在の日野町で行っている漢字検定・英語検定については、町の予算で1学年すべての子どもさんに受けていただくという、小学5・6年生の漢字検定と中学2年生の英語検定というふうになっておりますので、学校の教科内でされていると伺っております。</p>
高橋 委員	<p>ありがとうございました。わかりました。</p>
今宿 教育長	<p>検定を受けるようになって何年か経ていますので、子どもたちは今年は何級を受けようという目標を持ち、自学自習として、目的を決めて取り組む姿が見られています。また検定対象外の学年については、学校独自で同じ時間帯で取り組んでいる学校もあります。意欲の面と、学習定着の面で効果的に活用できるという点とっております。</p>
西村 委員	<p>先ほどご意見がありましたパソコンの件について一言申し上げたいのですが、私はICT、こうした環境整備を充実されていくことについては、大変いいことだと思うのですが、その発端、そもそもが、経済対策から出てきているということですね。今回のパソコンに限らず、この前の幼・保無償化もそうなんですけれども、「経済対策」から出てくるということですので、実施にあたっては現場にさまざまな混乱が生じます。実際教育の現場の先生方、また行政の側、それぞれの考える専門家も含めてですが、この方向でやっていこうというコンセンサスがあって初めてそういう施策が取り上げられるのならいいのですけれど</p>

	<p>ども、経済対策・不況対策からこういう大きな話が出てくるということについては、現場に混乱もきたしますし、たとえ結果がよかったとしても問題が多いことではないかなと私は感じております。</p> <p>ついこの間、全国学力調査をパソコンでやったらいいと、問題の印刷も要らないし、発送する必要もないしというニュースが出ておりました。力の強いところからの教育界へのさまざまな要求はどんどんと出されて来ますが、現場を預かるということになってくると、いろんな影響等も考えながら進めていく必要があるわけですので、今回のパソコンの件については、教育環境の整備ということでは賛意を表したいと思いますが、ツールとしての活用にあたっては、現場の状況を十分に踏み固めたうえで、実施していただきたいと思います。</p>
高橋 委員	<p>最後にあえて申し上げますと、国の指導でICTの整備ということは異論はないのですけれども、学校の先生の仕事の負担、あるいは研修とか、どちらにしましても必要になってくると思います。計画的に取り組んで、またよろしくお願ひしたいと思います。</p>
今宿 教育長	<p>ありがとうございます。パソコンの整備につきましては、これまでも県内の市町でかなり差があります。今回は、いきなり一人1台を、しかもここ何年かで整備しなさいということでもあります。非常に大きな財政上の影響もありますし、どう指導していくかなど様々なご意見もいただいているところであります。しかし、この機会にまずは教育環境としての整備はしていこうと考えております。</p> <p>環境整備のハード面と、それを果たしてどのように効果的に指導ができるかというソフト面の両面からの取り組みが必要です。実際に子どもたちに指導していくという、取り組みそのものについては、これから一層研究・研修しなければならないと覚悟しているところでございます。</p> <p>町では、4年前に、これからの教育課題について、それぞれの学校が同一歩調で取り組んでいこうということで、「ひのっこ育成プロジェクト」を立ち上げました。その1つに「ICT教育推進プロジェクト」を立ち上げております。その機会を一層しっかりと進めていかなければならないと覚悟しております。「主体的・対話的で深い学び」というキーワードがあるのですが、それに向かうためには何といたっても今までの授業の発想を転換していく授業改善の観点が必要であります。言葉だけではなくて、「素晴らしい授業だ」と、教員自身が目からウロコのような感動を持ち、気づくことが大事であるので、いわゆる先進校視察を、年に</p>

<p>望主 次長</p>	<p>1回はさせていただいているところであります。また、参加した教員だけのものにしないで、ぜひそれぞれの学校でしっかり発信し実践していることを確認しております。</p> <p>ほかにも、英語教育、特別支援教育、ふるさと絆学習についても、プロジェクトを立ち上げておりますので、しっかりと取り組んでいかなければならないという思いをしております。ありがとうございました。</p> <p>ほか、よろしいですか。</p> <p>経過報告が終わりましたので、遅くなりましたが、少し報告をさせていただきたいと思っております。個人情報流出の件でございます。</p> <p>1月6日のあいさつ会の時にも少し各委員さんにはご報告させていただきましたが、1月6日にすべての保護者の方と連絡が取れました。17件の方については面談、5件の方については電話、1件は郵送ということで、あの時点でも言っておりましたが、現在も郵送で送ったものがこちらに返っておりませんので、届いたという認識をしておりますので、1月6日の時点ですべての方にご報告はできたと考えております。それから、事故のことについても、聞いてなかったということでございます。</p> <p>新たな情報といたしまして、1月29日ですが、うちのホームページをつくっている管理業者から報告がございまして、ホームページにあげていたエクセルファイルを見たかどうかというログレポートが取れないと聞いていたのですが、実はログレポートがわかったと報告がありました。その中の報告では、IPアドレスが2件だとわかりました。1件は町ですし、1件は埼玉県の行政の方が見ていただいたということですので、そこと町しか見ていないので、それ以外のログがなかったもので、結果的には一般の方の目に触れることはほぼないという報告がホームページを作成している管理業者からございましたので、これで一応、第三者、誰かわからない人が見たとか、そういうことはないというふうに思っております。遅くなりましたが、個人情報の流出事故に対する最終的な、これが今の現状と思っておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>~~~~~</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程5 議第1号 日野町地区社会教育活動補助金交付要綱の一部 改正について</p> </div> <p>それでは、進めさせていただきます。</p>
<p>今宿 教育長</p>	

<p>今宿 教育長</p>	<p>日程5の議事に入りたいと思います。「議第1号 日野町地区社会教育活動補助金交付要綱の一部改正について」を議題といたします。事務局から提案説明をお願いします。</p> <p>(提案説明)</p> <p>以上でございます。提案説明に対しましてご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは、特にご質問、ご意見もないようですので、承認することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>それでは、「議第1号 日野町地区社会教育活動補助金交付要綱の一部改正について」を承認することといたします。</p> <p>~~~~~</p>
<p>今宿教育長</p>	<p style="text-align: center;">日程5 議第2号 第3期日野町教育振興基本計画の策定について</p> <p>続きまして、「議第2号 第3期日野町教育振興基本計画について」を議題といたします。事務局から提案説明をお願いします。</p> <p>(提案説明)</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>以上、提案説明がございました。予算説明の時に委員の皆さん方からご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。教育委員様からもご意見をいただき、そして今回、パブリックコメントでお寄せいただいたご意見等を検討いたしまして、加筆・修正するところはしまして、本日提案させていただくということでございます。ご意見ございましたらお出しいただきたいと思います。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>第3期の基本計画につきましては、昨年、何回かこの場でも説明がございましたし、私も個人的な思いも述べさせていただきました。こうしてまとめていただきまして、ありがとうございました。</p>

つきましては、全体論としましては「そうだな」というふうな思いも
ございますけれども、今進めてきました第2期の施策がどういうふうな
成果を生み出してきたのかと、検証につきましてはまた何らかの形で示
すということもございましたので、またそれはよろしくお願ひしたいと
思っております。

私が特にこだわっていたというふうに聞こえるかも知れませんが、
計画で言いますと2ページ、SDGsのお話でございます。これは否定
するものではございません。誠にそうだなと思うわけですが、第3期日
野町教育振興基本計画の中で3番としてあげるということは、相当な意
味合いを私は感じているわけですが、じゃあ、これを具体化していくの
に、全体論でもそうなんです、どういうことができるかなというところ
で、以前に私が議論したところでは、なかなかこれを見える化してい
くことは難しいのではないかと。私が感じるところでは、最初は、例
えば教職員の方々にSDGsの視点から教育というのはどうしていった
らいいのかとか、そういう、いわば講演会でも開いていただいて、そし
て先生方が興味・関心をお持ちの方々に関心を持ってもらおうと。そう
いうような施策を頭に起きながら進めてもらえるとありがたいと。これが
今求められている様々な行政の方針もそうですけれども、見える化につ
ながると思いますので、そういうことを思いました。

それから、以前、私はこれの原案のところでは不登校の話がございま
した。その時は問題行動というふうなとらえ方をなさっていたのではない
かと思いますが、それを私は教育上の課題だと、教育課題だというふう
に私は考えました。私も元は教員でしたので、そういうとらえ方をしま
したけれども、それはたぶんできていないかと思いますが、そういうふうな
意味合いで考えていただければありがたいなと思っております。

それと、先ほど見える化みたいな話をしましたけれど、6ページ目、
5年間に実施するとあります。5年というスパンは結構長いということ
で、他の教育に関わるといいますか、施策はこれまでは5年間でこうい
うことをしようというような計画が縷々述べられたりしているのが多
かったかなと。他市町もそういうことが多かったかなと思いますが、最
近ではやはり5年間と言いましても上半期とか下半期に分けて、上
半期ではここまで到達しようとか、そして5年後にはこういう姿にもつ
ていこうとか、そういうようなお話が出ているかと思っておりますけれども、
そういうことは教育委員会としては大切だなと思っております。

今、こと細かにそういうことを書いてほしいとは申しませんが、これ
も、そういうことを頭に入れながらこれに取り組んでいただくと。これ

	<p>がベースになって、例えば次年度の教育方針の基礎にもなろうかと思えますし、それに基づいてまた新たな日野町の教育の進展・発展が期待できるかと思えます。そういう意味で私は、こういう振興基本計画という、教育方針よりも幅広いとらえ方をして、ややもすると、あまり読まれないといえますか、そういうふうな印象もこれまではありましたけれども、非常に大切な第3期日野町教育振興基本計画ということで、教職員はもとより社会教育あるいは教育全般に関わっておられる方々に、十分に知っていただきたいなと思しますので、これが承認されたあと、たぶんこれは議会でもあがったと思えますけれども、皆さん方によくわかるようにぜひともお願いしたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>今回の教育振興基本計画でございますが、最初のご提案をいただいた時から、特に私は、学校教育の部分に関していくつか意見を申し上げまして、例えば新学習指導要領が目指すところとして、「有能な市民の育成」、あるいは先ほどおっしゃいましたSDGsについてのわかりやすい説明、あるいは教育を保障していくために教職員の職場環境、自由闊達に意思疎通が図れる職場風土の維持、あるいは不登校に関係しまして、その支援に関して、子どもの学習権の保障、これを文字として入れていただいた。この辺については大変積極的に内容を補完していただきまして、大変ありがたいと思えます。</p> <p>生涯学習の分野に関しましては、私自身は意見としてはあまり申し述べませんでしたけれども、住民の方からのご意見を提出いただいたということで、非常に公民館活動等熱心に進めておられる方からのご意見だと思うのですが、具体的な実態をあげて、それを踏まえての意見だと感じまして、大変心強いです。</p> <p>住民の方からのご意見、お2人となっておりますが、この方々にそれぞれ回答というのか、町の回答というのは書面でご回答なされたのでしょうか。</p>
<p>柴田 参事</p>	<p>この回答につきましては、今日の議論を踏まえ決めていただきましたら、パブリックコメントはホームページにも掲載して、ホームページを通じていただいたご意見もありますので、こういう意見が出て、それに対してこういう形で計画案を修正しましたとか、それについてはこういう町の考え方ですということを、ホームページ上でお返しをさせていただこうと思っております。ご本人さんには、ホームページ上だけでお返</p>

西村 委員	<p>しをするというふうに考えております。</p> <p>私はその方法についてはいいかと思えますけれども、町の考え方がわかり、かつ修正内容なしとなった場合、それなりの納得性のあるといえますか、例えば個別に年度計画の中で具体的に書いていきますとか、方針として具体化していきますとかいうことを、わかりやすくお示しをいただければいいのではないかなと思えますので、よろしく願います。</p>
柴田 参事	<p>わかりました。</p>
望主 次長	<p>先ほど高橋委員さんが言っていた評価と課題につきましては、申し訳ございません、もう少し準備ができてないのですが、この間も全部で読み合わせをしていたら、同じぐらいのボリュームになってこようかと思いますが、これは8月に長野県に行った時にお示しした、ざっと書いていた反省とかと一緒になんですけども、それを製本させていただいて、ここと同じぐらいのページ数になります。そこには子どもさんの児童数であったり、学力学習テストの評価であったり、グラフ化したものを載せていたり、その辺を資料としてそこに添付させていただきたいと思っております。あくまで計画については、今日ご審議いただいた中で承認いただければと思っております。</p> <p>それと、議会につきましては、3月議会でお示しをさせていただいて、決めていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>それと、そもそもこの基本計画につきましては、教育基本法の第17条第2項に基づきましてさせていただいているのと、国ができ、次に滋賀県ができ、そして日野町でございますので、そこは5年間という計画が国・県も決まっておりますので、町も同じ5年間のサイクルにさせていただいておりますので、そこで基本的な考えをお示しさせていただいているものでございますので、前期・後期というご意見はありましたけれども、基本的には5年間をこの計画で進めさせていただきたい。また、次回2月の定例教育委員会の中で各基本方針をお示しさせていただきますので、そこについて年度・年度の課題であったりを、しっかりとその方針で述べていきたいと思っております。</p> <p>また、一人1台パソコンにつきましても、パソコンが入ったらまた大きく授業が変わってくると思うのです。ここに書いている「柱1 子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む」とか、こういう目的</p>

<p>今宿 教育長</p>	<p>については不変でございますので、そこについてどのような、パソコンとか教材を使ってしていくということになっていきますので、それは具体的にここに書き込むことはできませんので、それぞれの年度・年度でまたみんながこういうことをしていこうというふうになっていくのかなと思っております。そのような進め方で今後も教育振興基本計画に基づいて、学校教育と生涯学習を進めていきたいと考えております。よろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。さらに第2期の考察をこの後に加えるということと、それから、それぞれの文章について補足し、写真等をできるだけ見やすく入れて、そこにキャプションを加えていこうと、今写真を集めているところでございます。</p> <p>そして、完成したものにつきまして、2月に定例教育委員会のあと総合教育会議で、町長も加えて、町としての教育大綱としていけるよう話し合っていきたいと思っております。</p> <p>いろいろとご意見をいただいて、特にSDGsについてはいろいろご意見をいただきました。まだまだ、言葉としても理解がされていないというのが現状ですけれども、教育だけではなく、すべてにおいてもこの視点を持つということは、これから次代を担う子どもたち、また指導していく側にとっても大事なことであります。これらの観点で進めていきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかにご意見もないようですので、「議第2号 第3期日野町教育振興基本計画の策定について」を承認することといたします。</p> <p>~~~~~</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>日程5 報第3号 職員の分限処分について</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>続きまして、「報第13号 職員の分限処分について」を事務局から説明をお願いします。</p>
<p>柴田 参事</p>	<p>(提案説明)</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>以上でございます。ご質問等ございますか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>~~~~~</p>

日程6 今後の予定	
今宿 教育長	<p>ありがとうございます。それでは、以上で議事を終了いたしまして、日程6の今後の予定について、学校教育課から順次説明をお願いします。</p> <p>(各課から説明)</p>
今宿 教育長	<p>以上、今後の予定の説明が終わりました。ご質問等ございませんでしょうか。</p>
高橋 委員	<p>今、それぞれの課から今後の予定、ありがとうございました。学校で言いますと、これから高校などの入試、あるいはまた学校の先生は事務等増えるかと思いませんか、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>今、学校教育課で話を出してもらいましたけれども、2月5・6日と、中学校の入学説明会という意味ですね。小学校ですか。中学校はもう終わっているわけですか。</p>
山添 参事	<p>はい、小学校です。</p>
高橋 委員	<p>それでちょっと話がずれてしまいますけれど、町内で小学校から日野中へ進むということは、子どもさんあるいは保護者の考えとしていろいろあるかと思ひますけれども、やはり10年・15年後の日野町のことを考えますと、人材育成とかの観点からいうと、日野町の中学校に小学校から来ていただくのがいいという考え方を私はずっと昔から持っているわけですが、なかなかそれはそれぞれのおうちの考えもあるかと思ひますけれども、最近ではそのあたりはどういうふうになっているのか、わかる範囲で紹介してもらえるとありがたいと思ひます。</p> <p>2点目、生涯学習課の範ちゅうに入っているのですが、2月21日に子育て後援会、これは昔と言ひますか、ありますね、合同研絡みの。私は個人的に以前からある、例えば合同研とか講演会、それは時代とともにいろいろ変わってきているし、毎年、毎年、何をしようかと。教育フォーラムは何をしようかと、子育て後援会もどういふ観点に立ってしようかなというようにしているのではないかという叱られるかもわかりませんが、今、令和2年になるわけですが、以前から行われている非常に意味のある事業だと思ひますが、一定の整理をしてまとめてもらうような作業が必要ではないのかなという気がします。</p>

	<p>教育フォーラムという、私が間違っているかも知れませんが、私 がここへ置いていただいていた時に確か第1回目だったのではないかと 私はバタバタ作業をしていたような気がします。当時は滋賀大学との連 携事業として教育フォーラムがあって、そこに保護者も巻き込んでとい う記憶があるわけですが、それは従来からの子育て後援会でもして いたような内容と似ているのではないかと考えておまして、最近特に それを感じておりますけれども、毎年これは位置づけられておりますけ れども、一定の整理をもとにして今年度末が来ていますし、新年度から どういう方向性でいくかとか、そういうことを、主にこれは教育関係者 になろうかと思うのですけれども、そういうことも大事ではないかなと 考えています。こういう表現をすると叱られるかも知れませんが、 マンネリ化にならないようにすることも大事ではないかと思いま すし、教育委員会事務局の方々は決してそんなことは思っておられ ないと思っておりますけれども、いかがでしょうか。私はそういうこと を思っています。意見でございます。よろしくお願いいたします。</p>
山添 参事	<p>まず、日野中学校に入学されないお子さんを、だいたい15名程度と 考えています。年によっては、多少増減しますが、できるだけ日野町内 に在籍する子どもたちは、中学校へ入学してほしいなと考えておりま す。</p>
今宿 教育長	<p>合同研の話し合いの中で。</p>
山添 参事	<p>続けて、合同研のことについての内容ですけれども、昨年度は子ども たちの貧困について、まちづくりの立場に立って考えるというようなこ とを講演していただきました。PTA連絡協議会や少年センターも合同 で行います。課題やニーズに合わせて、保護者の方も地域の方も含めて 一緒に子育てのことについて研修しようということを考え、講師の選定 をしているというところです。</p> <p>ただ、スマホとかネットに関する内容についても、以前と違う方にお 話しいただいたこともあります。内容は繰り返されたりすることもある のですが、高橋先生がおっしゃるように、見直しをしながら内容を考 えていきたいと思っております。</p>
今宿 教育長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。それではこの予定で2 月は進めてまいりたいと思っております。</p>

	<p>ほか、質問はございませんでしょうか。</p> <p>これをもちまして、1月定例会を終了いたします。</p>
--	--